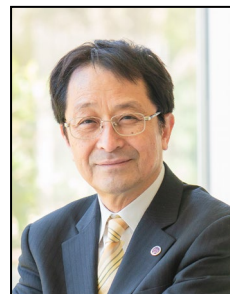




## 2019年度大学改革シンポジウム開催のご挨拶

「地域と国の発展を支え、世界をリードする国立大学！！」



一般社団法人 国立大学協会  
会長 永田 恭介(筑波大学長)

2019年度大学改革シンポジウムの開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

日本の国立大学は、2004年度の法人化以来、優れた教育や特色ある研究を行うなど個性豊かで魅力ある大学になるよう各大学が工夫を凝らし、成果を上げてまいりました。

「大学改革シンポジウム」は、国立大学協会が2008年度から経費や広報の一部を支援し、共催としているもので、国立大学が、学内の改革状況を市民の皆さまに公開し、国立大学の果たす役割の重要性や存在意義についてご理解いただくために開催するものです。国立大学は、こうした機会に地域の方々からのご意見を受け止め、皆様方のご期待に応える大学を目指して一層努力いたしますので、引き続きのご支援、ご協力をお願いいたします。

特に今年度からは、国立大学の強みについてそれぞれの大学がその地域に対して発信を行うだけでなく、近隣の国立大学などの協力を得るなどの多様な方法により発信を行うことによって、国立大学の改革の内容や存在意義等を、地域、社会、産業界等、広く国民の皆様にご理解をいただけるよう努力してまいります。そのため、複数の国立大学による共同開催を優先的に支援いたしました。

本日開催される大学改革シンポジウムは、関係大学のご尽力により魅力ある企画内容となりました。地域の皆様、地元の自治体、政財界の皆様にご理解いただくとともに、意見交換の場とも位置づけておりますので、国立大学へのご意見をいただく機会として活用いただけることを期待しております。

最後に、本シンポジウムが参加された皆様にとって意義あるものとなりますことを祈念して、ご挨拶とさせていただきます。